

令和5年度版

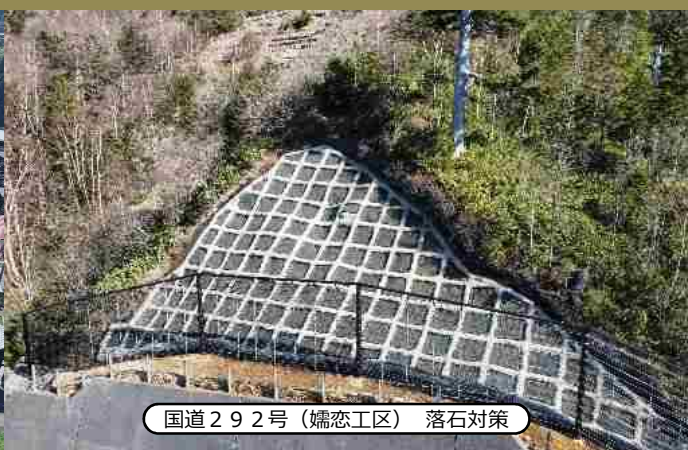
よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

吾妻地域



上信自動車道（吾妻西バイパス）バイパス整備



国道292号（嬭恋工区）落石対策



県道渋川東吾妻線（榎木交差点）交差点改良



糠塚沢1 土石流対策



トンネル

どんな効果があるの？



はし橋

事業の進み具合は？

何のために事業しているの？



どうろ道路

どんな事業？



さほう砂防えんてい

吾妻地域



吾妻地域は、県北西部の山間地に位置し、面積は県全体の約20%を占めていますが、人口は県全体の約3%で、近年は人口減少と少子高齢化が急速に進んでいます。一方で豊かな自然や温泉などの観光資源に恵まれ、伝統や文化、住民の絆が大切に受け継がれており、県内外から多くの人々が訪れる魅力的な地域です。

地域の優れた特性

- 上信越高原国立公園、ラムサール条約※登録「芳ヶ平湿地群」などの美しい自然景観や、自然湧出量日本一の草津温泉や四万温泉、万座温泉をはじめとした多くの名湯、日本ジオパーク※に認定された「浅間山北麓ジオパーク」などがある県内屈指の観光資源王国です。
- 生産量日本一の「夏秋キャベツ」をはじめ、標高差や気候条件を活かした高原野菜などの栽培や酪農、養豚、養鶏などの畜産が盛んで、新鮮な農畜産物の一大産地となっています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 緊急輸送道路※の落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 県央部や首都圏から遠い立地条件と、高速交通網へのアクセス性の低さを克服し、地域の発展と住民の利便性向上を図る取組が必要です。
- 草津温泉や四万温泉などの、県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るための取組が求められています。
- 通学路を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 避難経路の確保や消防活動が困難な区域の解消、災害弱者の避難対策の充実、土砂災害などの被害防止施設の整備が必要である。
- 通学路だが、歩道がない区間の歩道整備をお願いしたい。
- 草津温泉街周辺の観光シーズンの渋滞緩和のための道路整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 土砂災害リスクを軽減するため、大沢川や与喜屋沢の土石流対策、生須地区の地すべり対策等を推進します。
- ② 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道292号の落石対策や国道145号の電線共同溝、上信自動車道の整備等を推進します。
- ③ 水害リスクを軽減するため、一級河川吾妻川圏域の改修について検討を行います。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の発展と住民の利便性向上を図るため、国道144号の線形改良等を推進します。
- ② 県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るため、国道146号の現道拡幅や国道292号の登坂車線整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、国道292号の歩道整備等を推進します。
- ④ 物流の効率化や観光振興への効果を検証し、上信自動車道の県境区間については、長野県と連携して整備の検討を行います。

～掲載事業一覧～

吾妻地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	がけ崩れ対策	東吾妻町奥田	奥田2地区	1
2	土石流対策	嬭恋村田代	女塩淵沢	2
3		東吾妻町箱島	竹の沢	3
4		東吾妻町岩下	大沢川	4
5		嬭恋村田代	糠塚沢1	5
6		東吾妻町原町	山根沢	6
7		長野原町与喜屋	与喜屋沢	7
8		地すべり対策	中之条町生須	生須地区
9	落石対策	嬭恋村今井	(国)144号	9
10		東吾妻町郷原	(国)145号	10
11		草津町前口	県道草津嬭恋線(前口工区)	11
12		嬭恋村今井	県道草津嬭恋線(今井工区)	12
13		草津町草津	国道292号(草津工区)	13
14		嬭恋村干俣	国道292号(嬭恋工区)	14
15		中之条町上沢渡	県道中之条草津線	15
16	電線共同溝	東吾妻町原町	国道145号(原町工区)	16
17	バイパス整備	東吾妻町厚田～松谷	上信自動車道(吾妻西バイパス)	17
18		東吾妻町植栗～厚田	上信自動車道(吾妻東バイパス)	18
19	現道拡幅	東吾妻町植栗～中之条町伊勢町	県道植栗伊勢線	19
20	バイパス整備	東吾妻町箱島～植栗	上信自動車道(吾妻東バイパス2期)	20
21		長野原町与喜屋～嬭恋村鎌原	上信自動車道(長野原嬭恋バイパス)	21
22	交差点改良	東吾妻町原町	県道渋川東吾妻線(槻木交差点)	22
23	トンネル整備	長野原町川原湯～東吾妻町大柏木	県道川原畑大戸線 (大柏木川原湯トンネル)	23
24	現道拡幅	東吾妻町厚田	県道高崎東吾妻線(浄永橋工区)	24

吾妻地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
25	線形改良	嬭恋村大前	国道144号(大前工区)	25
26	現道拡幅	東吾妻町大戸	国道406号(大戸工区)	26
27		嬭恋村鎌原	県道大笹北軽井沢線(鎌原工区)	27
28		長野原町羽根尾～古森	国道146号(古森3期工区)	28
29	登坂車線	長野原町大津	国道292号(洞口工区)	29
30	歩道整備	嬭恋村西窪	国道144号(西窪工区)	30
31		長野原町大津	国道292号(大津工区)	31
32	土石流対策	東吾妻町箱島	橋横倉沢	32
33	地すべり対策	中之条町蟻川	熊野沢地区	33
34	落石対策	高山村中山	国道145号(高山工区)	34
35	歩道整備	中之条町伊勢町	国道353号(伊勢町工区)	35

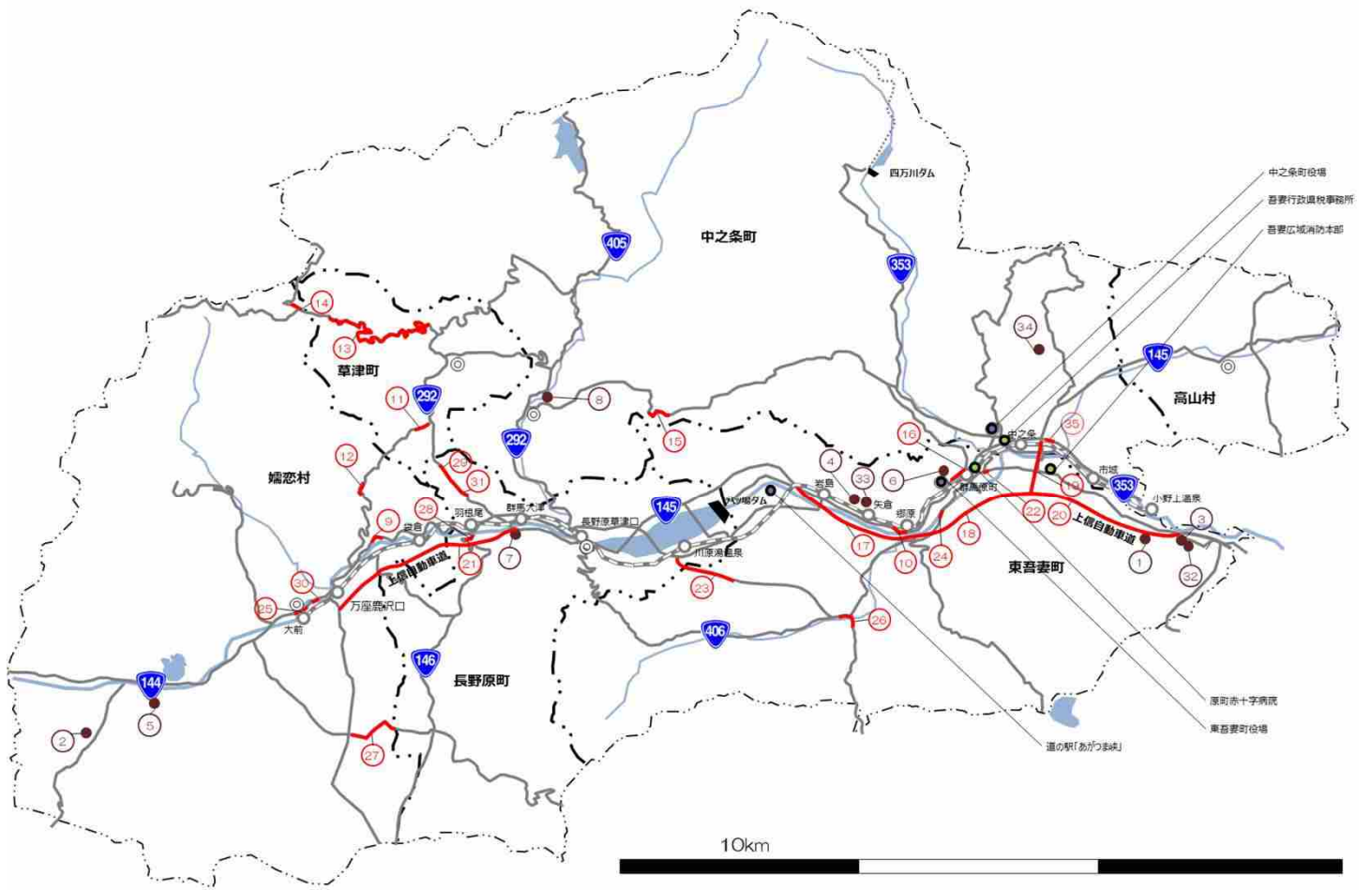
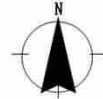
凡例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産地・園地）



奥田2地区
がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：東吾妻町大字奥田
- 地区名：奥田2地区
- 事業内容：崩壊土砂防護柵工、法枠工
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：平成30年度～令和3年度（4年間）
- 保全対象：避難所 1箇所
 人家3戸（うち特別警戒区域内1戸）

崩壊土砂防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、
被害を防止するものです。

どのような目的を達成するための事業か

事業位置



・土砂災害リスクを軽減するため

防護柵・法枠
をつくりました



・避難所のすぐ裏なので、早く対策してほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される人家	0戸	3戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

保全対象(避難所)



実施後

- ◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



完成写真

事業の進捗状況（R3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度末で事業完了となりました。



現在の状況

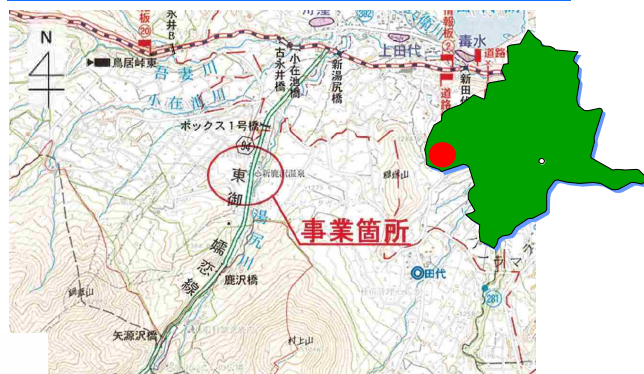
事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：孺恋村田代
- 溪流名：吾妻川支川 女塩淵沢
- 事業内容：砂防堰堤1基、溪流保全工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和5年度（5年間）
- 保全対象：人家11戸、県道

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



・家や旅館に土石流が流れてこないように、対策をしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される人家	0戸	11戸

実施前

- ◆令和元年東日本台風により土石流が発生し、下流の人家や旅館が甚大な被害を受けました。



被害状況 (R1.10)

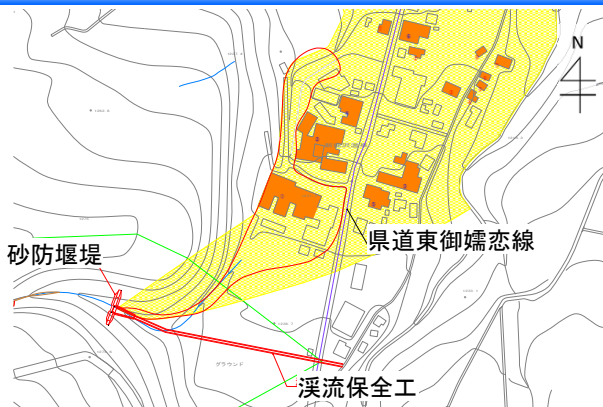
実施後

- ◆砂防堰堤等の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



砂防堰堤の整備状況

事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、引続き堰堤下流の溪流保全工工事及び管理用道路設置工事を行います。



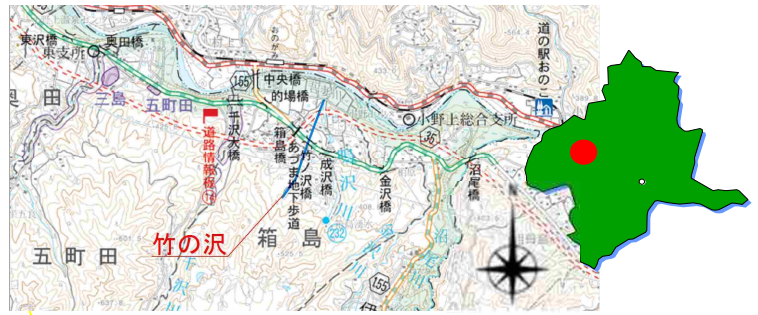
事業のすすみ具合

事業開始 ● ●●● 事業完了

事業概要

- 所在地：東吾妻町箱島
- 溪流名：吾妻川支川 竹の沢
- 事業内容：砂防堰堤1基
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：平成29年度～令和3年度（5年間）
- 保全対象：人家87戸、要配慮者利用施設1施設
国道、県道

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の
声

・いつ発生するかわからない土石流を防ぐために、早く整備してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
保全される要配慮者利用施設	0施設	1施設
保全される人家	0戸	87戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがありました。



溪流の荒廃状況

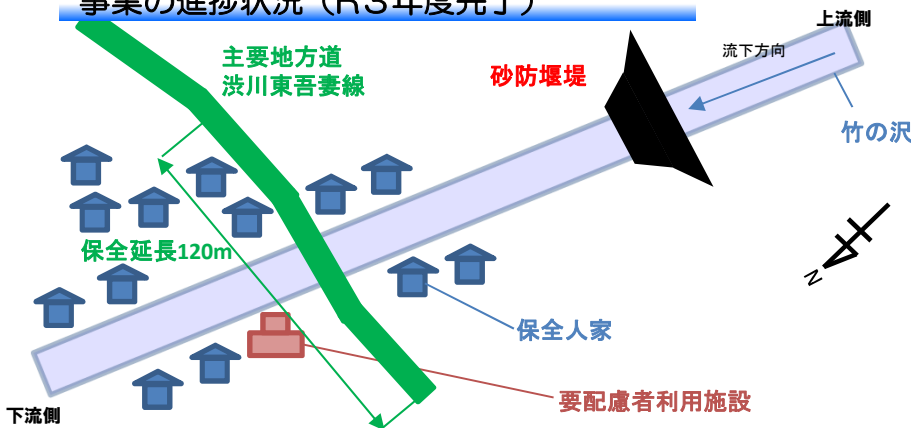
実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



完成後

事業の進捗状況（R3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度で砂防堰堤が完成し、事業完了となりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：東吾妻町岩下
- 溪流名：吾妻川支川 大沢川
- 事業内容：砂防堰堤2基、溪流保全工
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：平成27年度～令和5年度（9年間）
- 保全対象：人家19戸、要配慮者利用施設1施設
国道、鉄道

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

- ・台風の際には、流量が非常に多くなるため怖い。（地元住民）
- ・下流では河川水を飲み水等に利用するため、早く整備してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される要配慮者利用施設	0施設	1施設
保全される人家	0戸	19戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



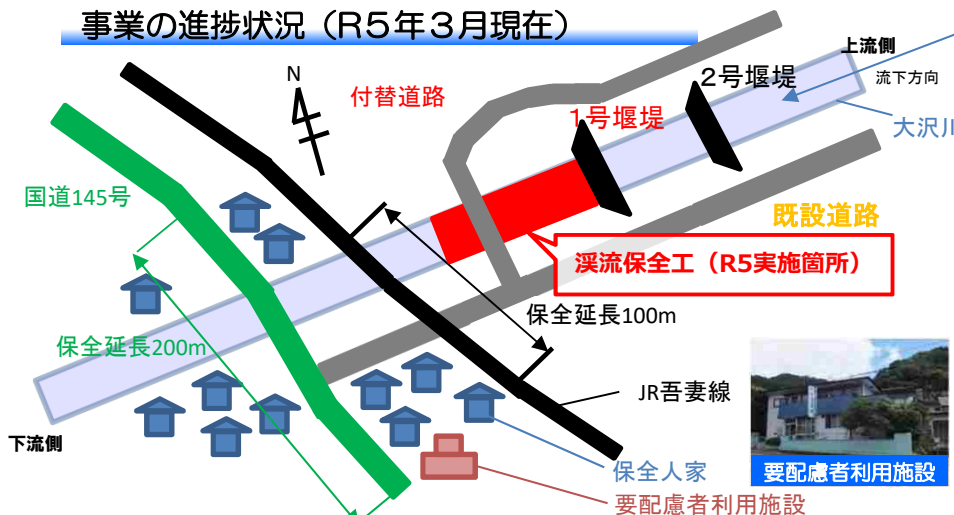
溪流の荒廃状況

実施後

◆令和元年東日本台風で土石流が発生しましたが、2号堰堤が整備されており約1,300m³の土砂及び流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止しました。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、溪流保全工の工事を実施します。



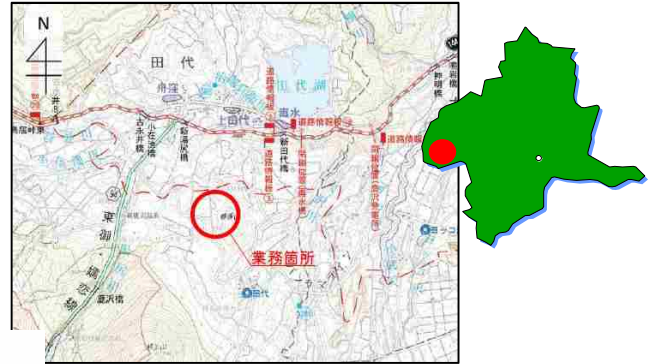
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：婦恋村田代
- 溪流名：吾妻川支川 糠塚沢
- 事業内容：砂防堰堤1基
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：平成30年度～令和4年度（5年間）
- 保全対象：要配慮者利用施設2施設、人家3戸
国道

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくりました

地元
の声

・家に土石流が流れてこないように、対策をしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
保全される要配慮者利用施設	0施設	2施設
保全される人家	0戸	3戸

実施前

- ◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがありました。

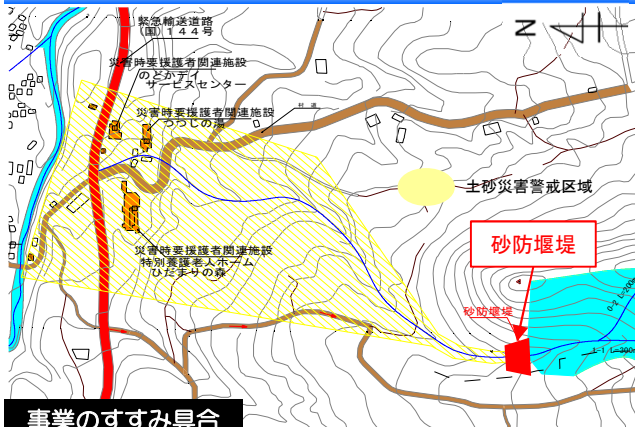


実施後

- ◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



事業の進捗状況（R4年度完了）



今、何をしているか

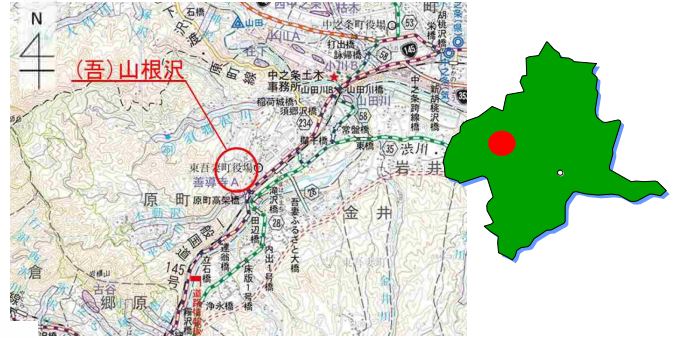
令和4年度に砂防堰堤の工事が完了し、事業完了となりました。



事業概要

- 所在地：東吾妻町原町
- 溪流名：吾妻川支川 山根沢
- 事業内容：砂防堰堤工1基
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：人家19戸、要配慮者利用施設1施設
国道、鉄道

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地の元
の声

・土砂災害が起こると人家等に被害が発生するため、土砂の流出を防いでほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される要配慮者利用施設	0施設	1施設
保全される人家	0戸	19戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



溪流の荒廃状況

実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



砂防堰堤の完成イメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度も、引き続き管理用道路工事を実施します。

令和5年度実施箇所



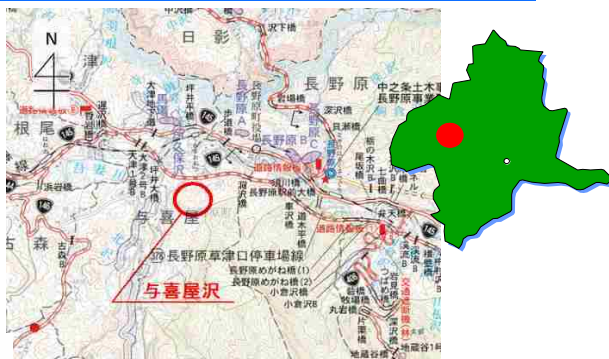
事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：長野原町与喜屋
- 溪流名：吾妻川支川 与喜屋沢
- 事業内容：砂防堰堤1基
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：人家10戸、避難所3箇所

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

地元の声

・避難所に土石流が流れてこないように、対策をしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	3箇所
保全される人家	0戸	10戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、砂防堰堤の工事を実施します。



事業概要

- 所在地：中之条町生須
- 地区名：生須地区
- 事業内容：集水井工、横ボーリング工、排土工、アンカー工
法枠工
- 全体事業費：約11億円
- 事業期間：令和元年度～令和10年度（10年間）
- 保全施設：人家37戸、要配慮者利用施設1施設、
避難所1箇所

集水井とは、
地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に
集水し、安全に排水するものです。

どのような目的を達成するための事業か

- ・土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設を
つくります



- ・保全施設が被災しないよう、地すべりの進行を止めてほしい。（地元住民）
- ・中学校やこども園前の町道の通行止めを解消してほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される要配慮者利用施設	0施設	1施設
保全される人家	0戸	37戸

実施前

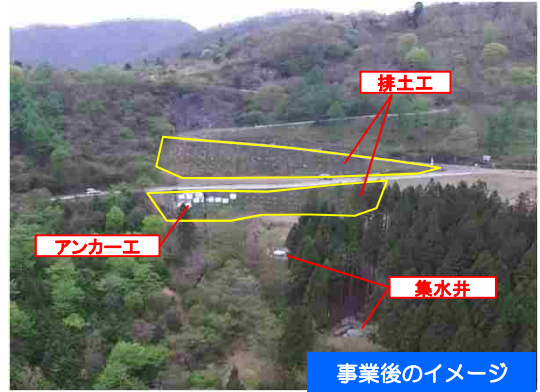
- ◆平成30年9月に地すべりが発生し、斜面が大規模に崩落したほか、町道が変状し、通行止めとなりました。



町道の変状

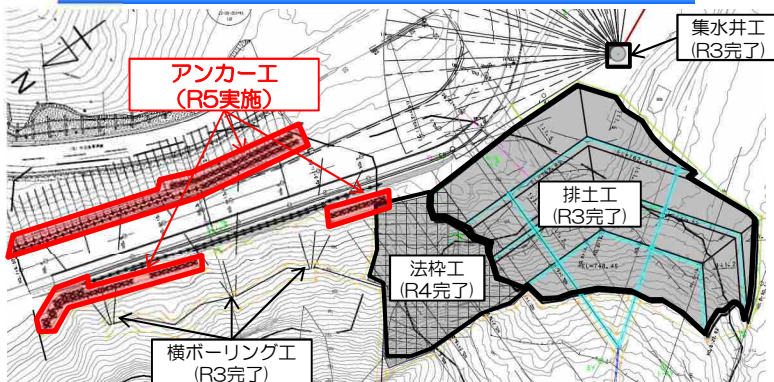
実施後

- ◆地すべり対策工を実施し、地すべりの活動を抑えることで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き地すべりを抑えるためのアンカー工を実施します。



アンカー工事R5実施箇所

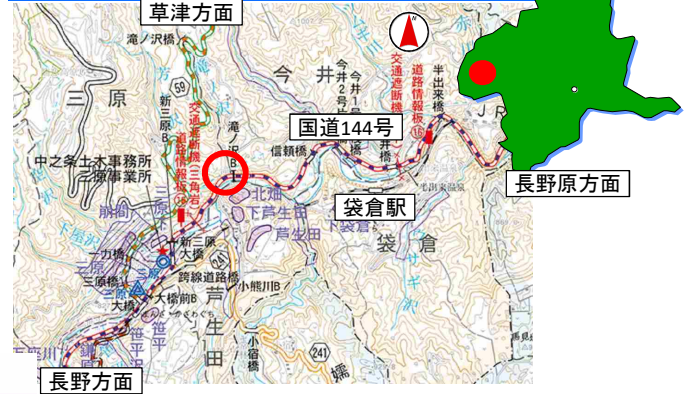
事業のすずみ具合



事業概要

- 所在地：嬌恋村今井
- 路線名：国道144号
- 事業内容：落石対策 1箇所
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和2年度（2年間）
- 現在の交通量（H27）：8,931台/日（自動車）
： 119人/12時間（歩行者）
： 7台/12時間（自転車）
- 緊急輸送道路指定：1次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を補強しました



・斜面が崩落し、車の通行に支障があるため、斜面对策を行ってほしい。（道路利用者）

成果を示す項目	実施前	実施後
道路上への落石・土砂流出件数	1件/年	0件
斜面の危険箇所数	1箇所	0箇所

実施前

◆令和元年7月に斜面の崩落が発生し、国道144号が安全に通行出来なくなりました。



斜面崩落状況

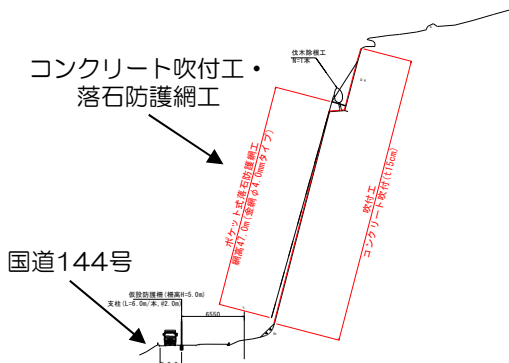
実施後

◆斜面を安定させることで、落石を防ぎ、災害時の安全な通行を確保しました。



整備後

事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に、コンクリート吹付工・落石防護網工が完成し、災害時における自動車等の安全な通行空間が確保されました。



事業のすすみ具合

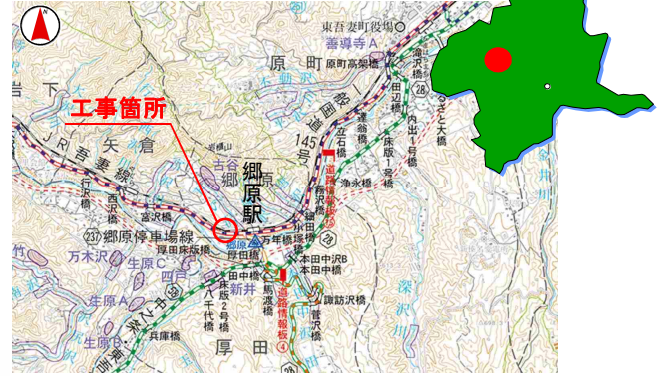
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：東吾妻町郷原
- 路線名：国道145号
- 事業内容：落石対策 1箇所
- 全体事業費：約0.4億円
- 事業期間：平成30年度～令和2年度（3年間）
- 現在の交通量（H27）：11,779台/日（自動車）
31人/日（歩行者）
7台/日（自転車）
- 緊急輸送道路指定：1次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくりました



・斜面から落石の危険があり、車の通行に支障があるため斜面对策を行ってほしい。（道路利用者）

成果を示す項目	実施前	実施後
斜面の危険箇所数	1箇所	0箇所
道路上への落石・土砂流出件数	1件	0件

実施前

◆道路脇の法面は浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがありました。



実施前

斜面中腹の転石

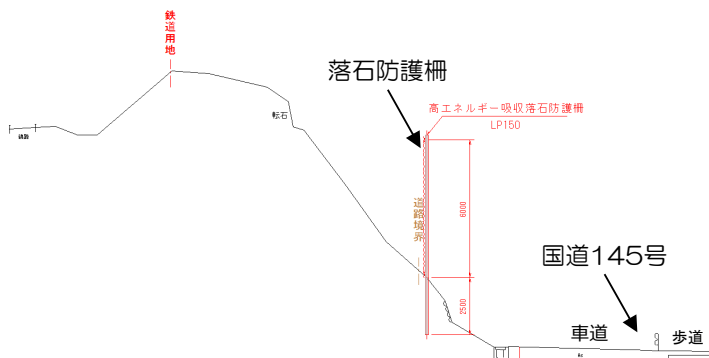
実施後

◆ネットを張り道路への落石を防ぐことで、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



完成（落石防護柵設置）

事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に落石防護柵の設置が完了し、災害時における自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：草津町前口
- 路線名：主要地方道 草津孺恋線
- 事業内容：落石対策 1箇所
- 全体事業費：約0.5億円
- 事業期間：平成30年度～令和4年度(5年間)
- 現在の交通量(H27)：1,990台/日(自動車)
： 1人/12時間(歩行者)
： 1台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくりました



・斜面から落石の危険があり、車の通行に支障があるため斜面对策を行ってほしい。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
道路上への落石・土砂流出件数	1件/年	0件
斜面の危険箇所数	1箇所	0箇所

実施前

◆道路脇の法面は浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがありました。



斜面上の転石、浮石

整備前

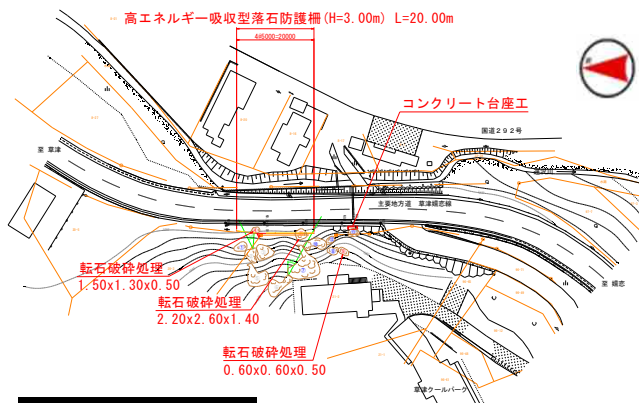
実施後

◆落石対策施設により道路への落石を防ぐことで、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



整備後

事業の進捗状況(R4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に落石対策が完了し、災害時における安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

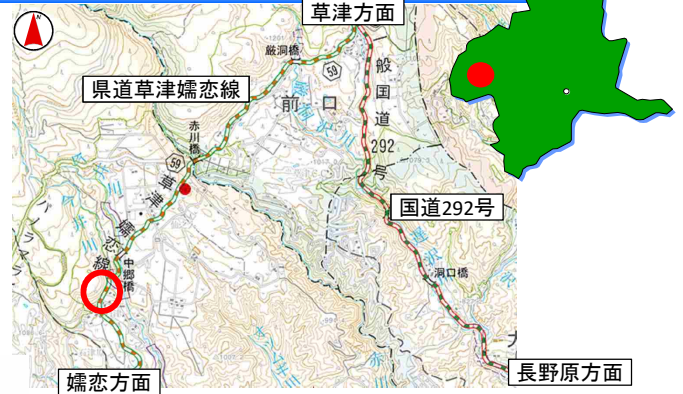
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：嬭恋村今井
- 路線名：主要地方道 草津嬭恋線
- 事業内容：落石対策 1箇所
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：平成30年度～令和3年度(4年間)
- 現在の交通量(H27)：1,990台/日(自動車)
 - ： 1人/12時間(歩行者)
 - ： 1台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくりました



・斜面から落石の危険があり、車の通行に支障があるため斜面对策を行ってほしい。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後
道路上への落石・土砂流出件数	1件/年	0件
斜面の危険箇所数	1箇所	0箇所

実施前

◆道路脇の法面は浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがありました。



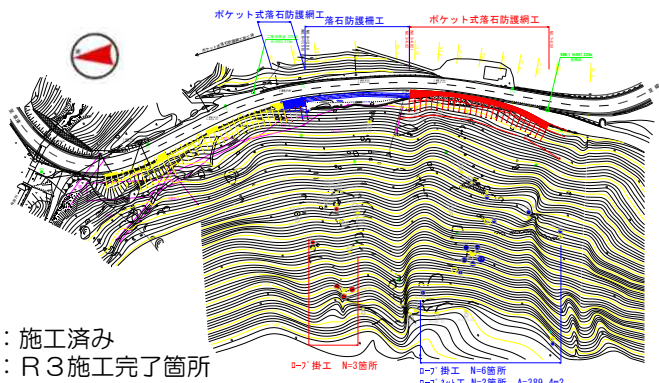
実施後

◆落石防護柵等を設置し、安全な通行を確保しました。



完成区間(落石防護柵)

事業の進捗状況(R3年度完了)



今、何をしているか

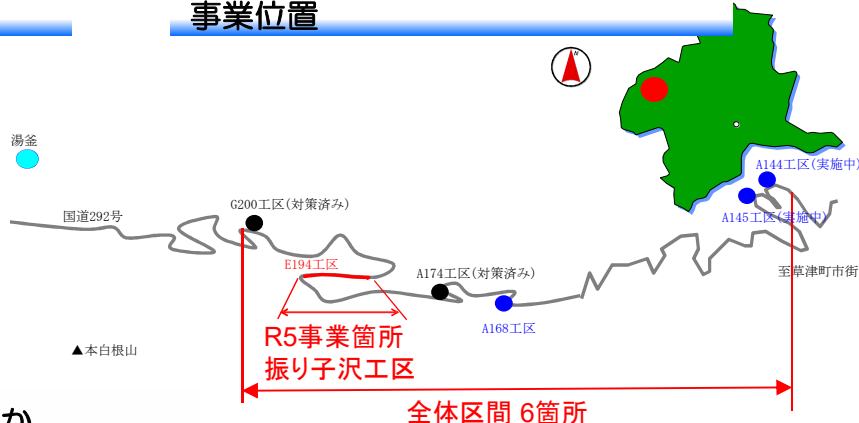
令和3年度に、ポケット式落石防護網工と0-7°掛工の施工が完了し、緊急輸送道路の安全が確保されました。



事業概要

- 所在地：草津町草津
- 路線名：国道292号
- 事業内容：落石対策 6箇所
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：平成30年度～令和6年度（7年間）
- 現在の交通量（H27）
 - ：2,156台/日（自動車）
 - ：85人/12時間（歩行者）
 - ：8台/12時間（自転車）
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を補強します



・斜面から落石があり、車での通行に危険があるため斜面对策をしてほしい。（道路利用者）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
道路上への落石・土砂流出件数	1～2件/年	0件
斜面の危険箇所数	6箇所	0箇所

実施前

◆斜面上の浮き石や既設コンクリート吹付のはく離、既設落石防護網の老朽化により、道路が寸断するおそれがあります。

振り子沢工区



実施後

◆法面にある不安定な石が排除されるとともに、斜面が補強されることで、緊急輸送道路の寸断を防ぎ、安全な通行空間を確保します。

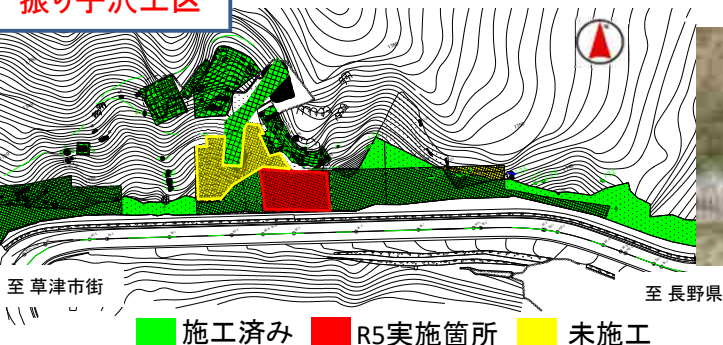
振り子沢工区



事業の進捗状況（R5年3月現在）

今、何をしているか

振り子沢工区



令和5年度は、振り子沢工区のコンクリート吹付工を実施します。



事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：嬭恋村干侯
- 路線名：国道292号
- 事業内容：落石対策 2箇所
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：令和元年度～令和4年度（4年間）
- 現在の交通量（H27）：2,156台/日（自動車）
： 85人/12時間（歩行者）
： 8台/12時間（自転車）
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくりました



・斜面から落石があり、車での通行に危険があるため斜面对策をしてほしい。（道路利用者）

成果を示す項目	実施前	実施後
道路上への落石・土砂流出件数	1～2件/年	0件
斜面の危険箇所数	2箇所	0箇所

実施前

◆道路脇の法面は浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがありました。



実施前

実施後

◆落石防護柵等を設置し、落石等による緊急輸送道路の寸断リスクを軽減しました。



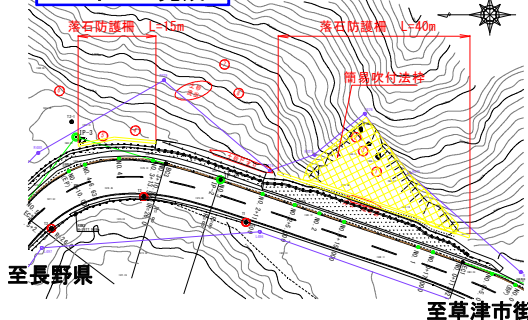
実施後

事業の進捗状況（R4年度完了）

2工区：R4完成

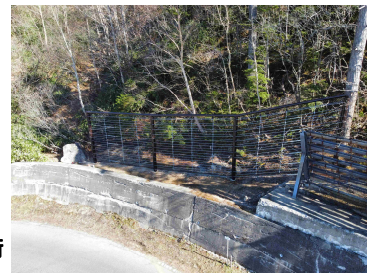


1工区：R4完成



今、何をしているか

令和4年度に落石対策が完了し、災害時における安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道中之条草津線 落石対策事業

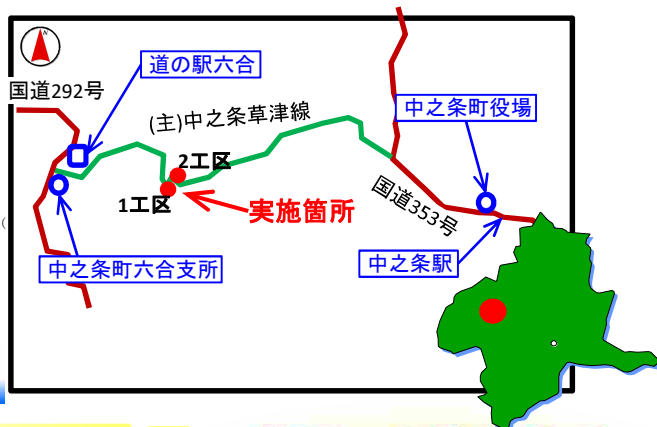
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：吾妻郡中之条町上沢渡
- 路線名：主要地方道 中之条草津線
- 事業内容：落石・土砂流出対策 2箇所
- 全体事業費：約0.3億円
- 事業期間：令和元年度～令和9年度（9年間）
- 現在の交通量（H27）：3,572台/日（自動車）
5人/12時間（歩行者）
3台/12時間（自転車）
- 緊急輸送道路指定：3次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

落石・土砂を防ぐ
施設をつくります



・交通の寸断を防止するために、落石・土砂流出対策を進めてほしい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
斜面の危険箇所数	2箇所（旧中之条町内の同路線）	0箇所
道路への落石・土砂流出件数	1件程度/年	0件

実施前

◆道路への落石・土砂流出の可能性があり、道路が寸断する恐れがあります。

1工区 対策実施前



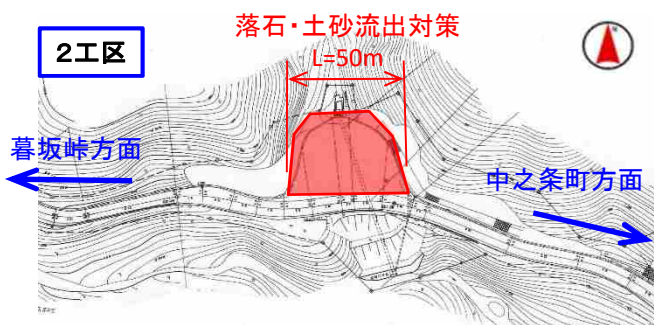
実施後

◆落石防護柵を設置することで、落石の道路への到達を阻止し、緊急輸送道路の寸断を防ぎます。

1工区 対策実施後



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は2工区の斜面の状態を調査します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

事業概要

- 所在地：東吾妻町原町
- 路線名：国道145号
- 事業内容：電線共同溝
 路線延長 1,050m
 管路延長 2,100m
- 全体事業費：約7億円
- 事業期間：平成29年度～令和5年度（8年間）
- 現在の交通量(H27)：10,679台/日（自動車）
 ：178人/日（歩行者）
 ：17台/日（自転車）
- 緊急郵送道路：第1次緊急輸送

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

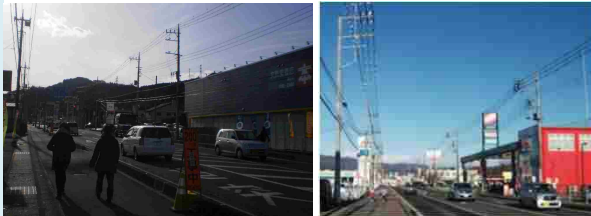
電線を地中化し
電柱を撤去します

地元の声

- ・近くに災害拠点病院があるので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。（医療関係者）
- ・西吾妻への重要な道路なので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前



現地状況

◆地震時などに電柱が倒壊して、通行の障害となったり、断線等で垂下がった電線が歩行者に接触するなどのおそれがあります。

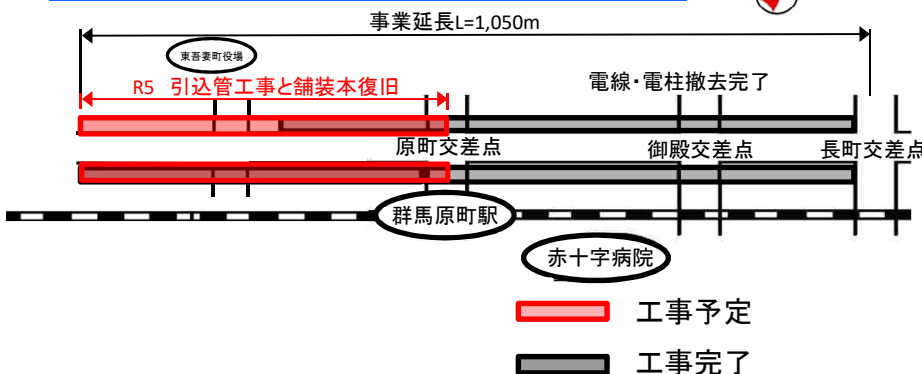
実施後

◆電線を地中化して電柱を撤去することで、電柱の倒壊による交通の寸断がなくなるとともに、良好な都市景観が創出されます。



県内 実施事例（前橋市内）

事業の進捗状況（R5年3月現在）

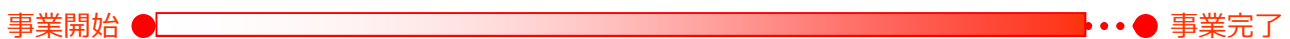


今、何をしているか

令和5年度は、各家庭への引込み管設置工事と舗装本復旧工事を行い、事業が完了する予定です。



事業のすすみ具合



上信自動車道(吾妻西バイパス) 政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
 バイパス整備事業 施策3: 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地: 東吾妻町厚田~松谷
- 路線名: 国道145号
- 事業内容: 延長約7,000m 幅員10.5m
- 全体事業費: 約169億円
- 事業期間: 平成21年度~令和5年度(15年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量(H27): 11,779台/日(現道_国道145号)
- 計画交通量(R12): 10,000~11,800台/日(バイパス)
 : 6,100台/日(現道_国道145号)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・広域交通、観光地へのアクセスを改善してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	3箇所	バイパス完成により回避
移動時間(渋川伊香保IC~草津)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

実施前

◆現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなる危険性があります。



実施後

- ◆国道145号の危険箇所を回避するとともに、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
- ◆また、高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業の進捗状況(R5年3月現在)

松谷地区 施工状況

宇都地区 施工状況

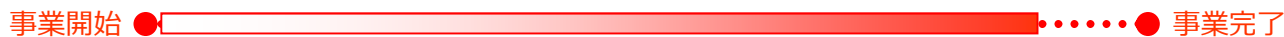
厚田地区 施工状況

今、何をしているか
 令和5年度は、舗装工事や標識・照明工事などを推進します。

四戸地区 施工状況

吾妻西バイパス L=7,000m
 令和5年度: 舗装工事・標識工事・照明工事

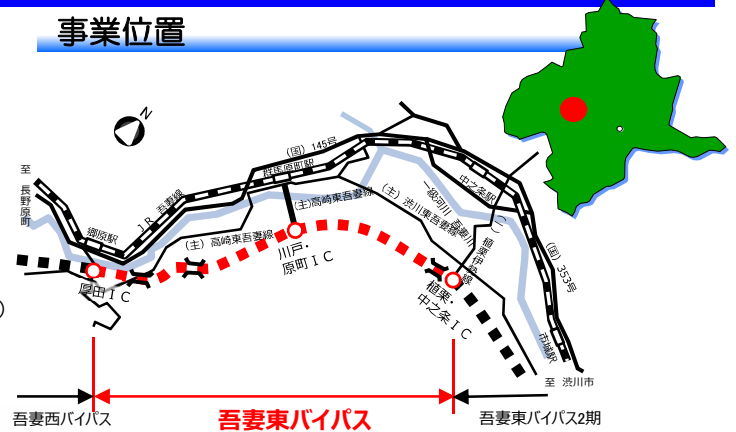
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地: 東吾妻町植栗~厚田
- 路線名: 国道145号
- 事業内容: 延長 約6,400m 幅員 10.5m
- 全体事業費: 約155億円
- 事業期間: 平成25年度~令和8年度(14年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量(H27): 10,679台/日(現道_国道145号)
- 計画交通量(R12): 11,300~12,000台/日(バイパス)
6,000台/日(現道_国道145号)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・車に頼らざるを得ない地域のため、スムーズに安全に車で移動できるようにしてほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	2箇所	バイパス完成により回避
移動時間(渋川伊香保IC~草津)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

実施前

- ◆現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。



実施後

- ◆国道145号の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されます。
- ◆高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



事業のすずみ具合



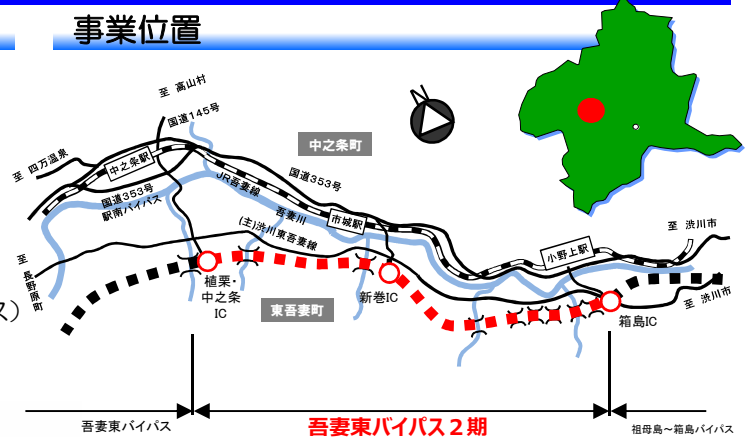
上信自動車道(吾妻東バイパス2期)政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

バイパス整備事業 施策3: 防災インフラの整備(中長期レジリエンス戦略)

事業概要

- 所在地: 東吾妻町箱島~植栗
- 路線名: 国道353号
- 事業内容: 延長 約6,700m 幅員 10.5m
- 全体事業費: 約180億円
- 事業期間: 平成26年度~令和9年度(14年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当
- 現在の交通量(H27): 11,157台/日(現道_国道353号)
- 計画交通量(R12): 11,300~13,200台/日(バイパス)
: 8,100台/日(現道_国道353号)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路
をつくります



- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・国道でも渋滞している地域がある。スムーズに移動できるように整備してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急傾斜地崩壊危険区域	5箇所	バイパス完成により回避
移動時間(渋川伊香保IC~草津)	約1時間30分	約1時間(30分短縮)

実施前

- ◆現道の国道353号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがあります。



実施後

- ◆国道353号の危険箇所を回避し、災害時の代替路が確保されます。
- ◆また、高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されます。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁工事、道路改良工事を推進します。



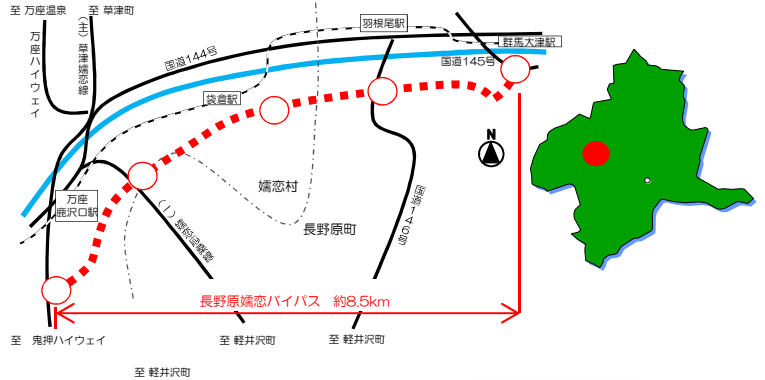
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：長野原町与喜屋～嬭恋村鎌原
- 路線名：国道144号
- 事業内容：延長 約8.5km 幅員10.5m
- 全体事業費：約220億円
- 事業期間：令和元年度～令和11年度（11年間）
- 現在の交通量（H27）：8,931台/日（現道_国道144号）
- 計画交通量（R12）：6,800～11,000台/日（バイパス）
：6,500台/日（現道_国道144号）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上を図るため

バイパス道路
をつくります



- ・地域の発展のため、移動を便利にしてほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・温泉地やスキー場などの観光地に、人を呼び込み観光客を増やしたい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
移動時間 （渋川伊香保IC～万座温泉）	約2時間	約1時間30分（約30分短縮）
搬送時間 （嬭恋村～緊急医療病院）	西吾妻福祉病院32分 前橋赤十字病院 165分	西吾妻福祉病院27分（5分短縮） 前橋赤十字病院 100分（65分短縮）
嬭恋村からの即日販売圏域人口	2,287万人	3,486万人

実施前

- ◆線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に5回発生しています。（H19～R1）



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

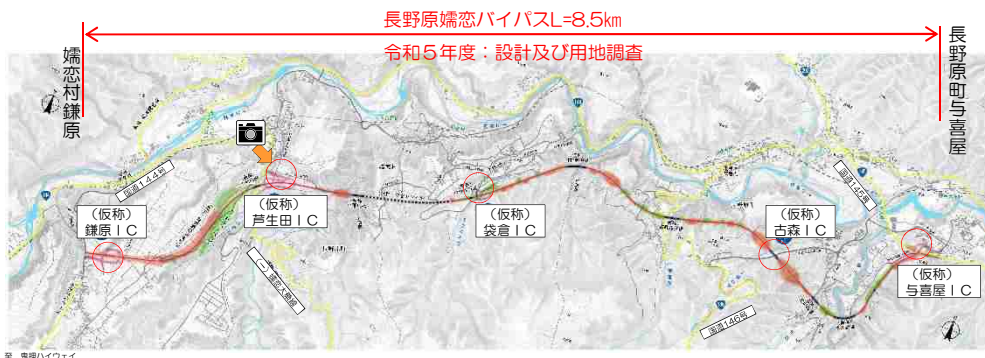
実施後

- ◆幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが解消され、利便性も向上します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、設計及び用地調査を推進します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 東吾妻町原町
- 路線名: 主要地方道 渋川東吾妻線
- 事業内容: 交差点改良 延長 230m
道路幅 10.25m
歩道幅 2.50m
- 全体事業費: 約2億円
- 事業期間: 平成29年度~令和4年度(6年間)
- 現在の交通量(H27): 11,541台/日(自動車)
: 70人/日(歩行者)
: 37台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上のため

右折車線や歩道を
設置しました

地元
の声

- ・朝夕の渋滞を解消してほしい。(企業通勤者)
- ・歩道がないので歩道をつくってほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前
交通事故件数	2.6件/年(H23~H27平均)
最大渋滞長	330m((主)渋川東吾妻線/渋川側)



実施後
0件
0m

実施前

- ◆車両が交互通行できない区間があり、朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が発生していました。
- ◆歩道がない区間があり、歩行者の交通事故のおそれがありました。



交差点東側

実施後

- ◆道路を拡幅し車両の交互交通を確保と右折車線の設置を行い、交通渋滞が緩和されました。
- ◆歩道を整備し、安全な通行空間を確保しました。



交差点東側

事業の進捗状況(R4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に擦付部の工事をを行い、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

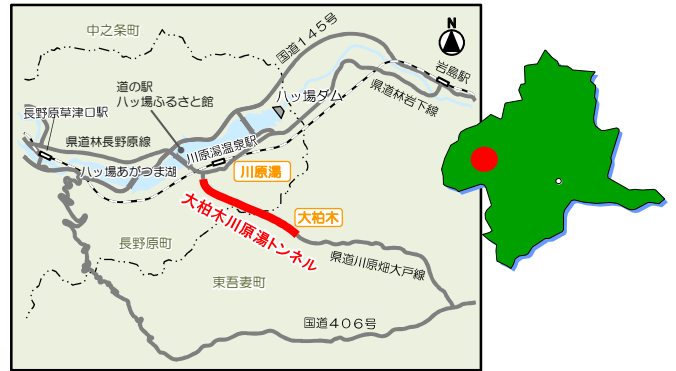
● 事業完了

県道川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル） 政策3 多様な移動手段の確保
トンネル整備事業 施策2：自動車交通網の整備

事業概要

- 所在地：長野原町川原湯～東吾妻町大柏木
- 路線名：一般県道 川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル）
- 事業内容：延長3,180m（トンネル延長3,005m）
幅員9.75～10.25m
- 全体事業費：約42億円
- 事業期間：平成29年度～令和2年度（4年間）
- 現況交通量（H27）：846台/日（川原畑大戸線）
- 計画交通量（R12）：2,600台/日（川原畑大戸線）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・地域の発展と住民の利便性向上のため

トンネルをつくりました

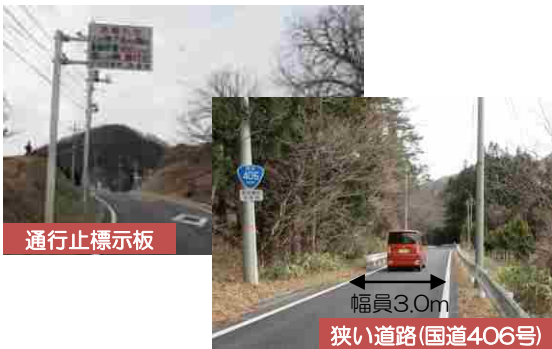


- ・国道406号の一部の道路幅が狭くて危険なので、道路を拡げて安全に通行出来るようにしてほしい。（地元住民）
- ・川原湯～大柏木間をもっと早く安全に行けるようにしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
アクセス時間の短縮 （川原湯温泉～高崎方面）	約2時間 （国道406号経由）	約1時間30分
雨量通行規制区間の解消	7.6km（国道406号）	0km（7.6km解消）

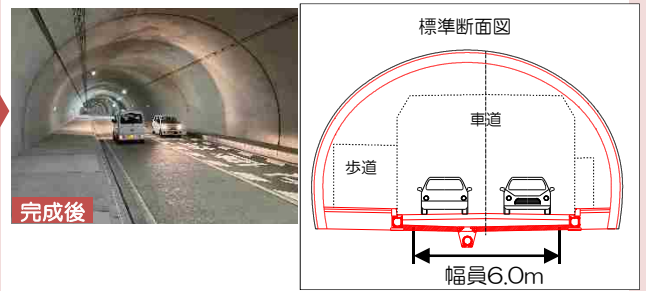
実施前

- ◆ 幅員が狭く、すれ違いが難しいことに加え、雨量規制等の交通規制が実施される状況がありました。

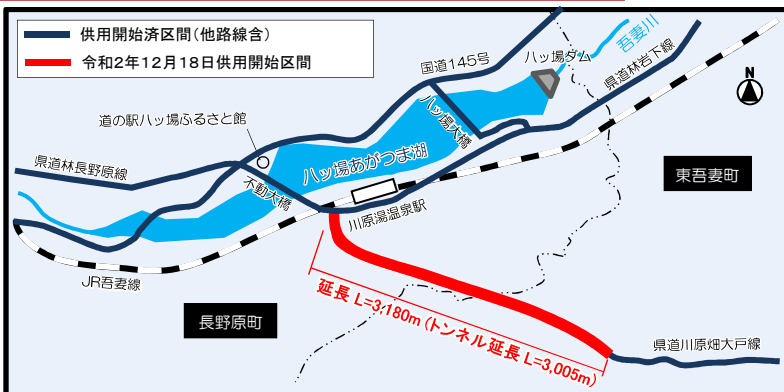


実施後

- ◆ トンネルにより、雨量規制等で通行止めとなる交通規制区間を回避した新たな道路ネットワークが確保されました。
- ◆ トンネル前後の道路と一体となった2車線化と歩道整備により、車両と歩行者の円滑で安全な通行が可能となりました。



事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度にトンネル整備が完了（令和2年12月18日供用開始）し、長野原町～高崎市間の快適な通行が確保されました。



写真は供用しているトンネル内の写真です。

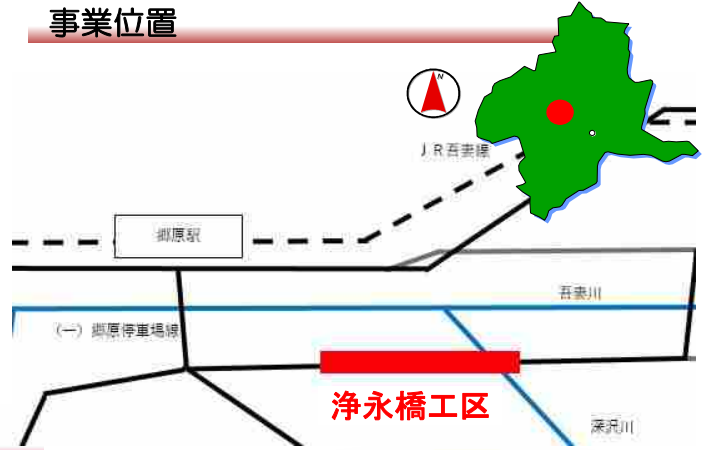
事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 東吾妻町厚田
- 路線名: 主要地方道 高崎東吾妻線
- 事業内容: 現道拡幅 延長 0.5km 幅 9.8m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 平成24年度～令和3年度(10年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第二次緊急輸送道路)
- 現在の交通量(H27): 3,870台/日(自動車)
: 76人/12時間(歩行者)
: 45台/12時間(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上を図るため

車道の拡幅と
歩道を整備しました



- ・円滑な車同士のすれ違いができるようにしてほしい。(地域住民)
- ・歩道が無い区間の整備を進めてほしい。(地域住民)

成果を示す項目	実施前	実施後
車両同士のすれ違い	困難(幅員5.5m)	すれ違いが容易に(幅員7.25m)

実施前

- ◆道路が狭く歩道も未整備のため、車両同士のすれ違いが困難であり、円滑な交通に支障がありました。

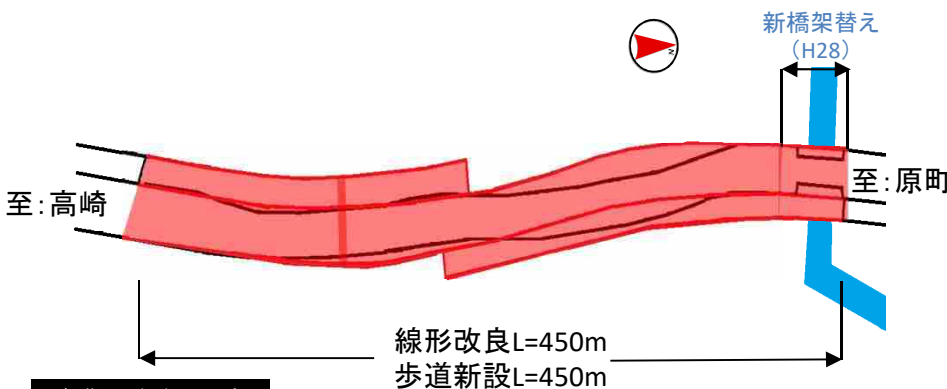


実施後

- ◆道路が広くなることで、車両同士のすれ違いが容易になり、円滑な通行が確保されました。



事業の進捗状況(R3年度完了)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和3年度に現道拡幅が完了し、快適な通行が確保されました。

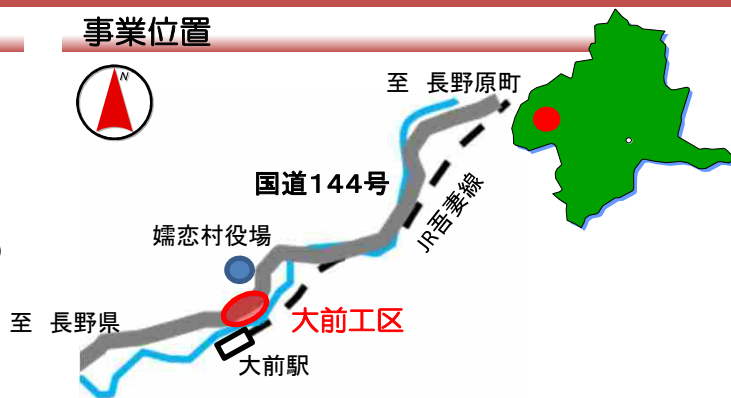


完成写真

事業概要

- 所在地: 嬭恋村大前
- 路線名: 国道144号
- 事業内容: 線形改良 延長 0.3km 幅 10.0m
- 全体事業費: 約8億円
- 事業期間: 平成25年度~令和5年度(11年間)
- 現在の交通量(H27): 8,931台/日(現道_自動車)
: 119人/12時間(現道_歩行者)
: 7台/12時間(現道_自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上のため

カーブの数を減らします

地元の声

- ・短い区間にカーブが多く、見通しが悪いので危ない。冬場はスリップ事故を起こしそうになる。(地元住民)
- ・国道と村道の交差点がきつくすれ違いが危険なため改善してほしい。(地元住民)
- ・地域の発展のため、移動を便利にしてほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急カーブ数	3箇所	1箇所

実施前

◆カーブが連続し、見通しも悪いので、円滑な通行に支障があります。



現在の状況

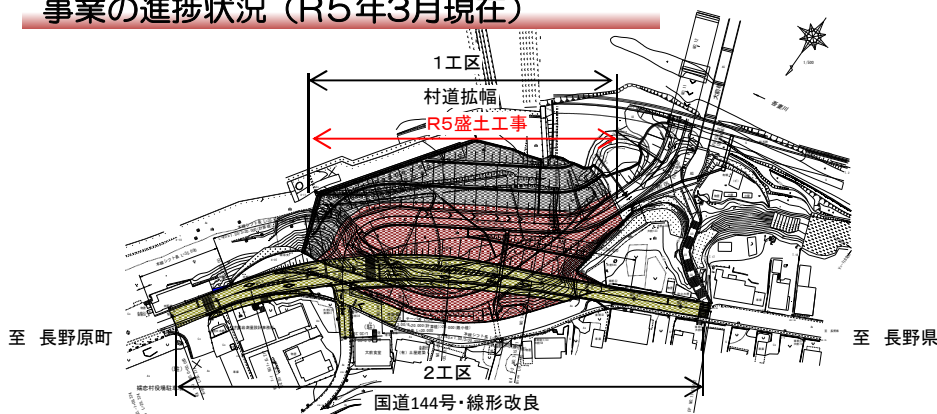
実施後

◆カーブを減らし、ドライバーからの見通しをよくすることで、円滑な通行を確保します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き路体盛土工事を行い、村道の線形改良を行います。



路体盛土工事の状況

事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地: 東吾妻町大戸
- 路線名: 国道406号
- 事業内容: 現道拡幅 延長0.7km 幅9.75m
- 全体事業費: 約5億円
- 事業期間: 令和元年度~令和10年度(10年間)
- 現在の交通量(H27): 2,264台/日(現道_自動車)
: 15人/12時間(現道_歩行者)
: 7台/12時間(現道_自転車)
- 計画交通量(R12): 6,300台/日(自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・地域の発展と住民の利便性向上のため

道路を
拡幅します

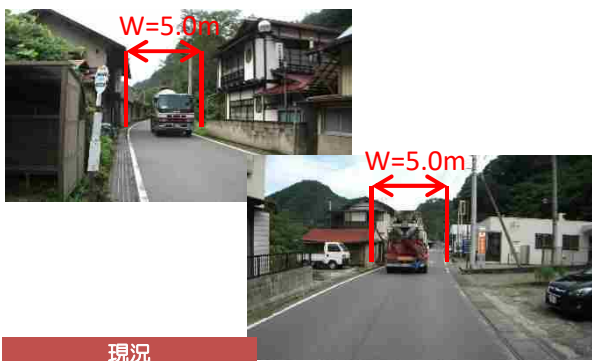


- ・道路が狭く、車のすれ違いが危険な状況なので、安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・冬は除雪により通行スペースが狭くなるので、十分な幅員を確保してほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員5.0m)	すれ違いが容易に(幅員7.25m)

実施前

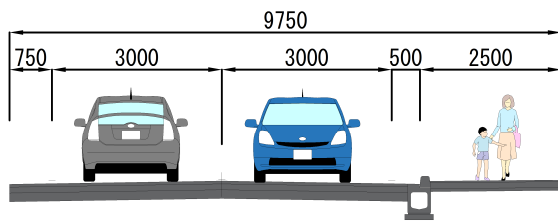
- ◆道路の幅が狭く、大型車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



現況

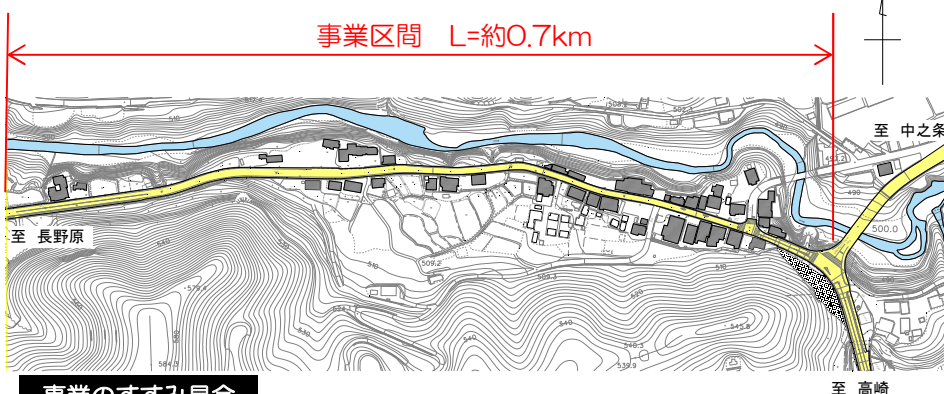
実施後

- ◆道路の幅を広げ、大型車両のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行を確保します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き用地買収を推進します。



【現地の状況】

事業概要

- 所在地: 嬭恋村鎌原
- 路線名: 一般県道 大笹北軽井沢線
- 事業内容: 現道拡幅 延長 1.4km 幅 9.3m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 平成23年度~令和6年度(14年間)
- 現在の交通量(H27): 2,733台/日(自動車)
: 31人/12時間(歩行者)
- 現在の交通量(R12): 0台/12時間(自転車)
- 計画交通量(R12): 2,730台/日(自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・観光地アクセスの強化を図るため

道路を
拡幅します

地の声

・別荘地があり、週末には避暑を求めて観光客の歩行者が増えるため、歩道の設置と円滑な車のすれ違いができるよう、2車線の道路整備をお願いしたい。(地域住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員4.5m)	すれ違いが容易に(幅員6.75m)
周辺観光施設の観光客数	39万人(R1年度)	39万人(維持)

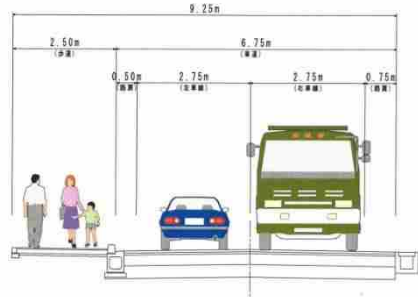
実施前

- ◆道路が狭く、一部で車両のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。
- ◆浅間山も近く、火山噴火時の迅速な避難、救命・救助活動を行う上での支障となります。
- ◆また、周辺には別荘地が点在していますが、歩道も未整備で歩行者も危険な状態です。

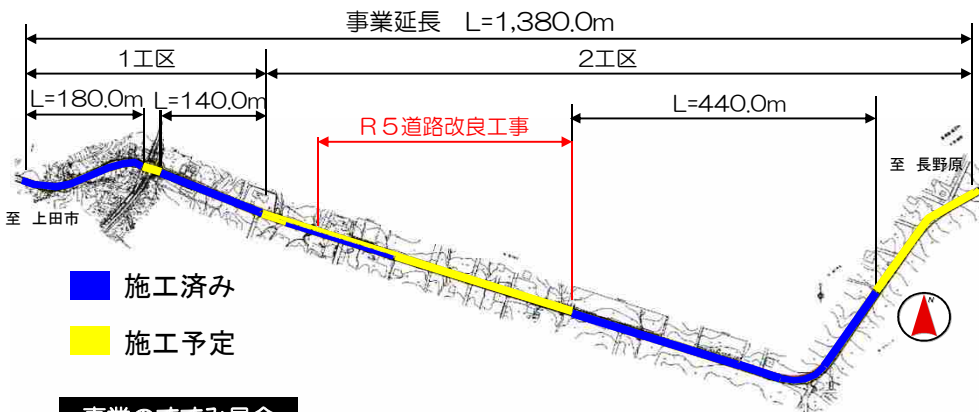


実施後

- ◆車道部が2車線となることで、全区間で車両同士のすれ違いが可能となり、円滑な通行が確保されます。また、歩道が整備されることで、歩行者の安全が確保され、散策や周遊性が向上します。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収及び道路改良工事を実施します。



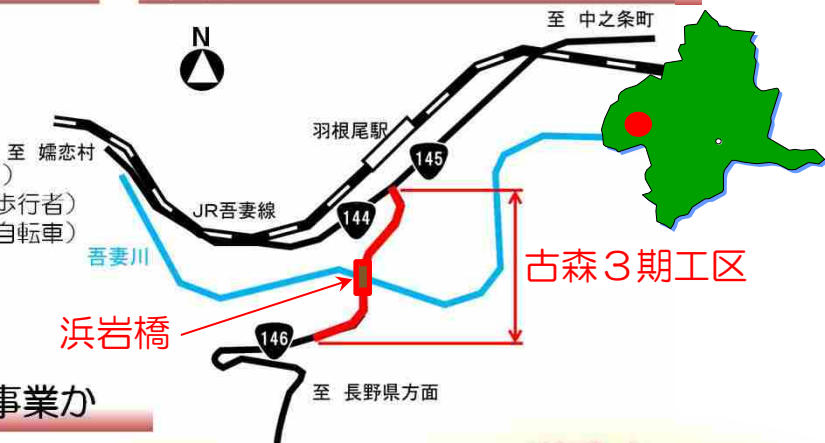
事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 長野原町羽根尾 ~ 古森
- 路線名: 国道146号
- 事業内容: 現道拡幅 延長 0.5km 幅 9.25m
- 全体事業費: 約8億円(浜岩橋含む)
- 事業期間: 平成27年度~令和7年度(11年間)
- 現在の交通量(H27): 4,139台/日(現道_自動車)
: 0人/12時間(現道_歩行者)
: 2台/12時間(現道_自転車)
- 計画交通量(R12): 3,618台/日(自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・観光地アクセスの強化を図るため

道路を
拡幅します



- ・道路が狭く、対向車と接触の危険があるので拡幅してほしい。(地元住民)
- ・歩道がなく、車が歩行者のすぐ脇を通るので怖い。(地元住民)
- ・観光地である草津町に向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしい。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員5.0m)	すれ違いが容易に(幅員6.75m)
橋の健全性を高める	主要部材(主桁等)に損傷あり	損傷なし

実施前

- ◆道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障があります。
- ◆また、歩道が無く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



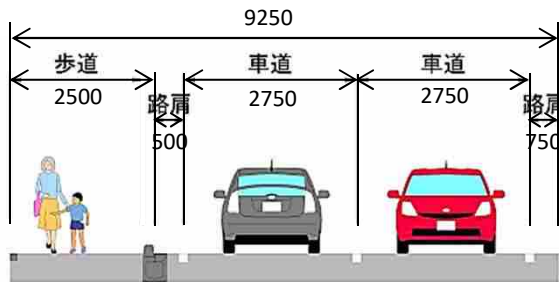
現道状況



浜岩橋の状況

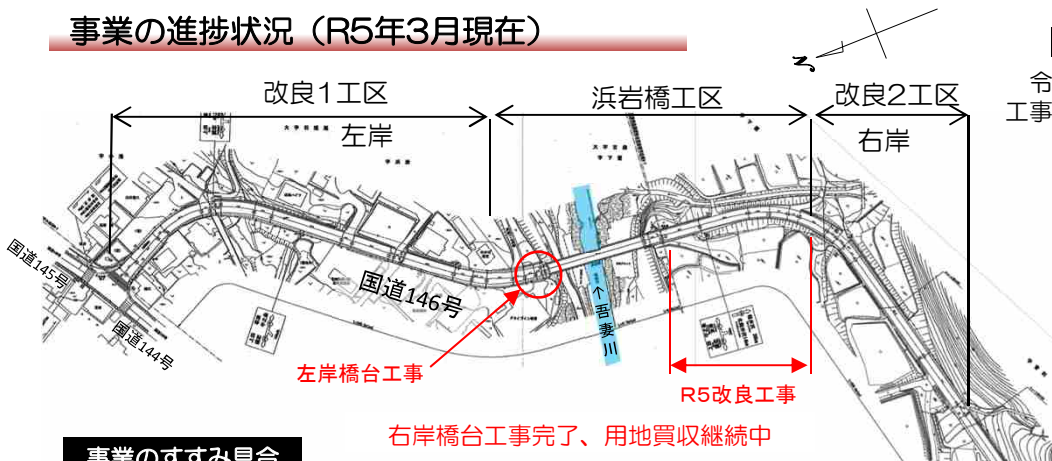
実施後

- ◆道路の幅を拡げ、歩道を設置することで、円滑な通行が確保されるとともに、車両も歩行者も安全に通行できるようになります。



完成後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収、左岸橋台工事、道路改良工事を実施します。



【浜岩橋右岸橋台の状況】

事業のすすみ具合

右岸橋台工事完了、用地買収継続中

事業開始 ● [Progress Bar] ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 長野原町大津
- 路線名: 国道292号
- 事業内容: 登坂車線整備 延長 444m 幅 10.5m
- 全体事業費: 約9億円
- 事業期間: 平成29年度～令和9年度(11年間)
- 現在の交通量(H27): 8,471台/日(自動車)
: 0人/日(歩行者)
: 8台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・観光地アクセスの強化を図るため

登坂車線を整備します

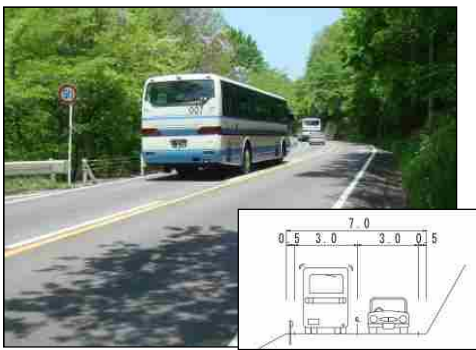


- ・急坂で速度が出せず、後続車に迷惑をかけてしまい申し訳なく思います。(路線バス運転手)
- ・積雪時にスタックする車があると、交通が麻痺してしまい困ります。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
急勾配区間の追い越し	不可	可能
道路幅員	7.0m(実施前)	10.5m(登坂車線追加)

実施前

- ◆ 道路勾配が急で大型車の速度が低下するため、後続車両の円滑な走行に支障をきたしています。

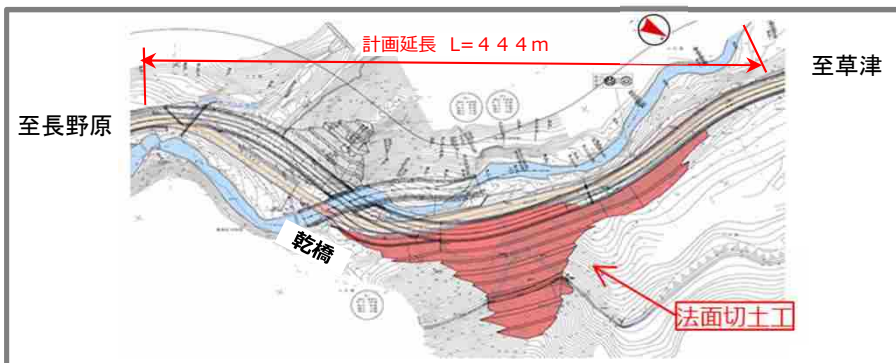


実施後

- ◆ 登坂車線の整備により、無理な追い越しを防ぎ、円滑な通行を確保します。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、用地買収および法面の切土工事の一部を実施します。



終点から起点側に撮影

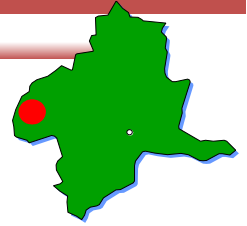
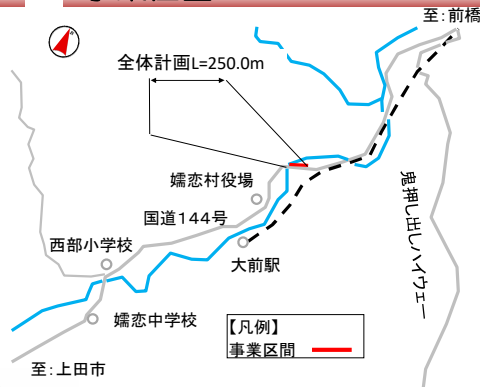
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：孺恋村西窪
- 路線名：国道144号
- 事業内容：歩道整備 延長 250m
道路幅 9.0m
歩道幅 2.5m
- 総事業費：約2億円
- 事業期間：平成28年度～令和2年度（5年間）
- 現在の交通量(H27)：8,931台/日（自動車）
： 119人/日（歩行者）
： 7台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備しました

地元の
声

- ・トラックやバスが多く通るので、登下校がとても不安です。（地元小学生）
- ・路肩を歩いている子供達を見るたび、車に接触しないかハラハラします。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	0件/年（H23～H27）	0件

実施前

- ◆歩道が無く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



実施前の状況

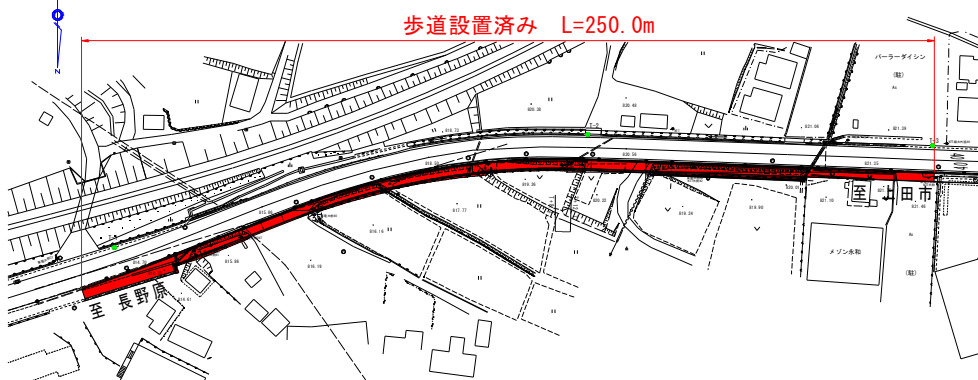
実施後

- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



完成後の状況

事業の進捗状況（R2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完成し、安全な通行空間が確保されました。



事業のすずみ具合

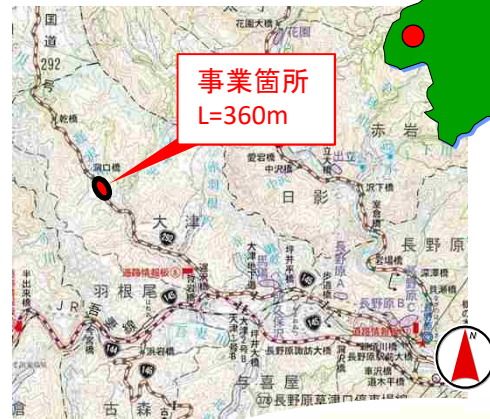
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：長野原町大津
- 路線名：国道292号
- 事業内容：歩道整備 延長 360m
道路幅 10.0m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：平成28年度～令和3年度（6年間）
- 現在の交通量（H27）：8,471台/日（自動車）
： 21人/日（歩行者）
： 0台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を拡げ、
段差をなくしました



- ・スピードを出す車やバスなどの大きな車が多く、登下校がとても不安です。（地元小学生）
- ・路面がデコボコしていて、とても歩きにくいので、改善してほしいです。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
交通事故件数	0.2件/年（H23～H27平均）	0件

実施前

- ◆歩行者が狭く、デコボコした側溝の蓋の上を歩いたため、歩行者にとって危険な状況です。



現状の写真

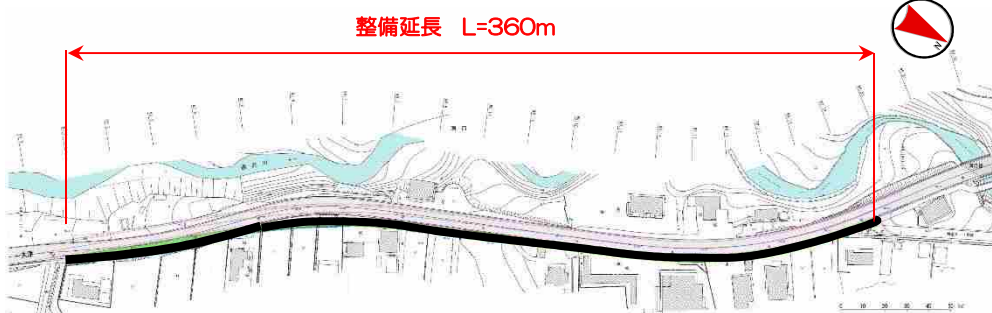
実施後

- ◆段差のない、広い歩道を設置し、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



実施後の写真

事業の進捗状況（R3年度完了）



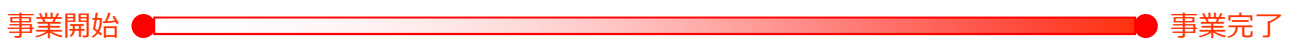
今、何をしているか

令和3年度に歩道整備が完了しました。



完成後の状況

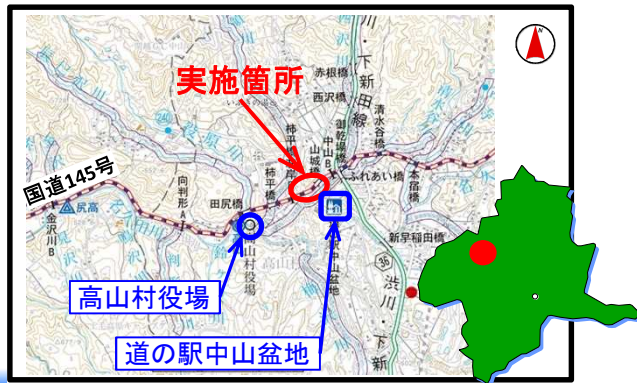
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：吾妻郡高山村大字中山
- 路線名：国道145号
- 事業内容：落石対策 1箇所
- 全体事業費：約0.3億円
- 事業期間：令和3年度～令和4年度(2年間)
- 現在の交通量(H27)：5,828台/日(自動車)
58人/12時間(歩行者)
22台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：1次

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

斜面を
補強しました



・通学路の安全を確保するために、落石対策を進めてほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後
斜面の危険箇所数	1箇所	0箇所
道路への落石・土砂流出件数	1件程度/年	0件

実施前

◆斜面崩落等により、道路が寸断する恐れがありました。



実施後

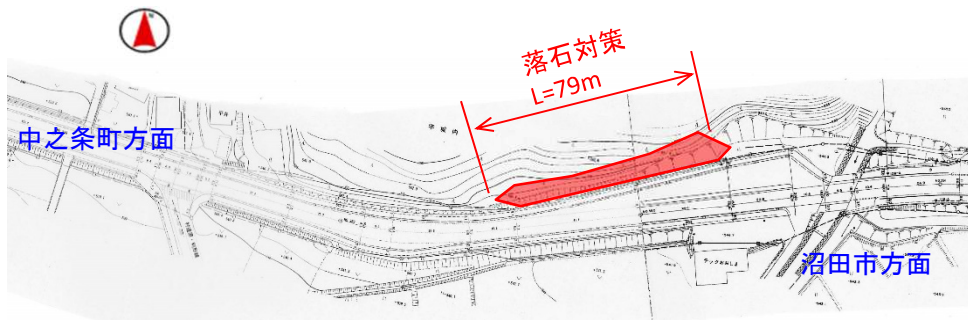
◆斜面を補強することにより、緊急輸送道路の寸断を防ぎました。



事業の進捗状況(R4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度に対策工事が完了し、災害時における安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

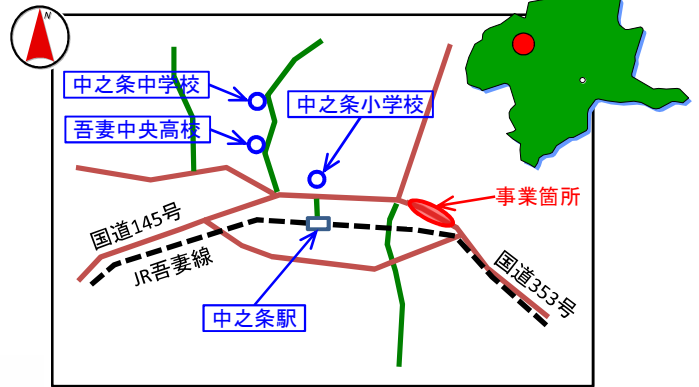
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：中之条町大字伊勢町
- 路線名：国道353号
- 事業内容：歩道整備 延長 230m
道路幅 10.0m
歩道幅 2.5m
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和4年度～令和8年度（5年間）
- 現在の交通量（H27）：12,214台/日（自動車）
：18人/12時間（歩行者）
：7台/12時間（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので児童と車両との接触事故が心配です。（地元小学校）
- ・歩道がなく通学時に危険を感じています。（地元中学校）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	0.4件/年（H21～H30平均）	0件

実施前

- ◆歩道がなく、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



実施後

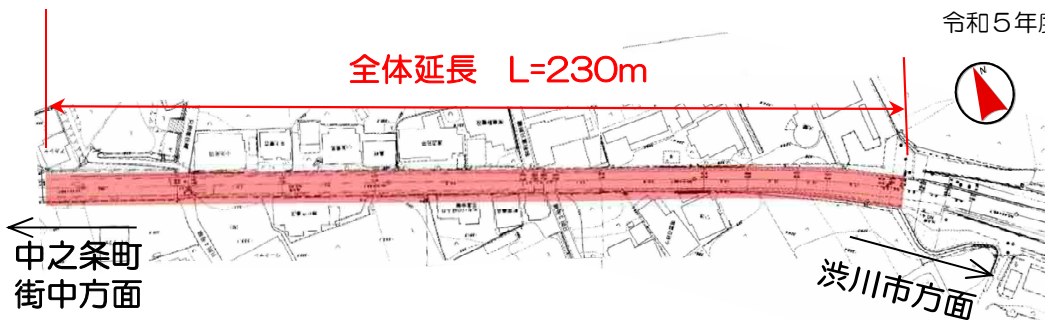
- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）

今、何をしているか

令和5年度は用地測量・調査を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了